

# つるせ西だより



～今月の特集～  
鶴瀬西地域のあゆみ  
～市制施行50周年を迎えて～



富士見市★市制施行50周年

第173号(6月号)2022. 6. 1

編集: 鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行: 富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬3575-1

TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

地域の百景 43



## 関沢0丁目0番地？

右の雑木林の写真は今から70年ほど前の関沢の風景で、今はきれいな住宅街になっています。近くの丸池辺りから流れ出ている江川の両側は高台でおおむね畑地でした。

少年のころ、その高台のフチを歩いていたら、茂みの中から大きな野兎がびよ〜んと飛び出し江川を飛び越え、この雑木林の中に消え、次に飛び出したときには90度ほど向きを変え三芳方向の林の中へ逃げて行ってしまいました。その跳躍力にはびっくりしました。

そしてあの急に曲がった場所はもしかしたら大昔のケモノの世界での関沢0丁目0番地の「街角」だったのではないかと思いました。でもあそこで昼寝をしていた野兎君を起こしてしまい可哀そうなことをしてしまったなあとうでは思っています。

(撮影・文/萩原編集委員)

(上)昭和34年(1959年) 4月26日撮影

(右)令和4年(2022年)

江川から関沢集会所を臨む

ウクライナ人道危機救援金を受け付けています

## ま ち の 話 題

毎日、テレビ、新聞などで報道されている「ウクライナ」ってどんな国なのかほとんど知りませんでした。

ロシアに侵攻され街が破壊されて人命が失われてゆくを見てみると、いつ解決の方向に向かうのかが思い悩まれます。

国土は日本の16倍、人口は日本の1/3で、芸術の都といわれる首都「キーウ」は古いものと新しいものが融合した街で、文化や民族伝承が数多く残っていて、日本と似ているといわれています。またバリエイターともいわれ「くるみ割り人形」が有名です。「欧州のパンかご」といわれ、小麦の生産が多く世界有数の穀物輸出国でもあります。日本との経済文化交流も行われ在日当該国人数は、1千865名です。ちなみに、昭和の大横綱「大鵬」はウクライナ人の父と日本人の母の間に生まれたそうです。

富士見市では日本赤十字社の「ウクライナ人道危機救援金」を受け付けています。皆さんの善意が集まっています。



ウクライナ国旗



キーウの街並み



西交流センター事務室前「ウクライナ人道危機救援金」義援金箱

上半分の青色は空を、下半分の黄色は小麦畑を象徴し、ウクライナの田園風景を表していると言われています

「つるせ西だより」は富士見市ホームページからもご覧いただけます